

京都府立医科大学大学院脳神経内科学「遺伝性神経疾患の遺伝子解析と病態解明ならびに
治療法、予防法の開発に関する研究」にご協力いただいた方へ

「アレキサンダー病の病態に関与する遺伝的修飾因子の探索」における
データの使用についてのお知らせ

京都府立医科大学大学院脳神経内科学では、京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されて「アレキサンダー病の病態に関与する遺伝的修飾因子の探索」を行ないます。本研究の目的は、アレキサンダー病の経過や重症度などに関連する遺伝的因子を同定することです。そのために、遺伝子のほぼ全域にわたる配列の個人差（SNP（1塩基多型）と呼びます）を集計し、アレキサンダー病患者さんの群と対照となる方の群とを比較するという解析を行います。

今回対象となるのは、当科の「遺伝性神経疾患の遺伝子解析と病態解明ならびに治療法、予防法の開発に関する研究」の研究協力をいただきアレキサンダー病と診断され、試料・情報が本学医学倫理審査委員会の承認を受けた新たな研究に使用されること（二次利用）に同意をいただいている方です。その研究で得られたゲノム情報（SNP データを含む詳細な遺伝子配列データ）を使用させていただくことがあります。

「アレキサンダー病の病態に関与する遺伝的修飾因子の探索」の研究責任者は本学脳神経内科学・准教授・笠井高士です。ご本人（もしくは代諾者）がゲノム情報の二次利用をご了承いただけない場合は、研究対象にはいたしませんので、下記連絡先に 2026年6月30日までにお申し出ください。その場合、ご本人に不利益が生じることはありません。

2026年3月5日

研究実施責任者

京都府立医科大学大学院 脳神経内科学

准教授 笠井 高士

連絡先

京都府立医科大学大学院 脳神経内科学

准教授 笠井 高士

電話：075-251-5793

（平日 10:00～16:00）